

自治体・協議会名	富士市公共交通協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

## 二次評価結果

### 評価できる取組

- ・路線バスが撤退した地域や交通空白地域でのコミュニティ交通導入にあたっては、地区からの「立候補制」による参加型の協働事業とし地域交通の維持のために運行経費の一部を地域で負担することに理解が得られており、また、運行地区の住民が名付けた愛称の使用、キャラクター設定などを行い「マイバス」意識を醸成する制度が長年の実施で定着していることを確認しました。
- ・自動運転について、令和9年度のレベル4の実装運行を目指し、計画的に実証運行を行っていることを確認しました。

### 期待する取組

- ・計画評価にあっては、取組全体の評価を実施する際は、市内すべての路線・系統を対象にした評価指標として定期的にモニタリングを実施されることを期待します。
- ・コミュニティ交通に運行ルールが決められていることで維持・確保の指標となっているものの、指標に拘わらず地域の実情に応じて対応することができるよう、引き続き地域と連携して利用促進を行うなど持続可能な公共交通の維持に取り組まれることを期待します。
- ・事業者路線の運行状況で維持・確保が危ぶまれるものについては、市と事業者間のみならず、国や県とも認識の共有を行い、連携して維持・改善へ取り組めるよう、早期に情報提供されることを期待します。